

## まん延防止等重点措置の延長について

2022年2月18日(金曜日) 発表

**まん延防止等  
重点措置**

**延長**

**3月6日(日)まで**

国は、福岡県を含む17道府県について、まん延防止等重点措置の期間を、3月6日(日)まで延長しました。これを受け、県では、これまでと同様の措置を徹底し、感染の収束に向けて全力を挙げていきます。なお、措置区域については、全県的に感染が拡大している状況が続いているため、これまで同様に県内全域とします。

【PCR等無料検査】

感染に不安を感じる県民の方

**PCR等無料検査**

**3月6日(日)まで延長**

【ワクチン接種】

ワクチンについては、市町村や県の接種会場、医療機関で接種できます。3回目の接種による予防効果を考えていただき、ワクチンの種類にかかわらず、積極的に接種をご検討ください。

なお、県の広域接種センターについて、現在の3カ所(みやま会場、直方会場、行橋会場)に加え、新たに博多駅周辺での設置を検討中です。早期に開設できるよう準備を進めているので、決まったら改めてお知らせします。

### 【病床確保等】

新たにコロナ病床を6床確保し、1558床から1564床に増床しました。

県では、コロナ患者受入医療機関に、「退院基準を満たした方の退院」や「後方支援病院への転院」、「退院基準を満たす前でも、入院4日目以降に医師が入院治療の必要がない軽症と判断した方の早期退院」を積極的に促すとともに、後方支援病院への転院を円滑に進めるための新たな仕組み(後方支援病院の受入可能情報の共有)を16日から稼働させるなど、コロナ病床の効率的な運用に努めているところです。

なお、早期退院した患者は、医師や看護師が常駐する宿泊療養施設での受け入れを原則としています。

さらに、高齢者施設の入所者が新型コロナウイルス感染症に感染し、施設内で療養を行う場合の療養体制の確保に対する支援として国の補助が拡充されるため、高齢者施設の管理者にこのことを周知し、これを活用していただくことで、病床のひっ迫を防いでいきます。

### 【おわりに】

県民の皆さま、事業者の皆さまには、再びご負担をかけることとなり、大変心苦しいですが、再拡大を防いで、早期に収束させるためにも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

私たち自身がお互いを守るという意識で慎重に行動し、大切な人、かけがえのない命を守りましょう。